

都市と田園の好循環～デジタル技術で食と農の可能性を拡げる都市～

新潟県新潟市（2022年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<p>【地域の特徴】●豊かな「食」と「農」のポテンシャル ●人・モノ・技術が集積する都市が田園に近接する地勢</p> <p>【課題及び目標】 経済：農業者所得、食品製造業の労働生産性の低位水準⇒経済的価値の創造 社会：農業の後継者不足、市民の「食」と「農」への関わり促進⇒食と農の恵みを身近に 環境：環境に配慮した農業の実践、食料安全保障の確保⇒持続可能な農業を実践</p>	 <p>SDGs 新潟市</p>	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	農作物の生産から、流通・販売、消費されるまでのサプライチェーンを一体的に捉え、各段階において、デジタル技術を有効に活用し、新潟市の強みである「食」と「農」の価値を今以上に高める取組を行うことで、経済面・社会面・環境面の課題解決につなげ、持続可能な「食」と「農」の創出に取り組む。		

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 <ul style="list-style-type: none">●食と農のわくわくSDGs学習（令和版！アグリ・スタディ・プログラム）<ul style="list-style-type: none">➢小学生から大学生までの各年代に切れ目なく、食と農をテーマに自ら課題を設定し、探究する機会を提供●農業DXモデル事業<ul style="list-style-type: none">➢農業DXによる生産性向上や脱炭素化等に資する取組を支援●フードシェア推進による食品ロス削減<ul style="list-style-type: none">➢企業等と連携し、規格外食品などのオンライン販売や、農業者などが規格外の野菜等を持ち寄り、子ども食堂へ提供する取り組みを実施●新潟国際情報大学との連携事業<ul style="list-style-type: none">➢大学との連携協定に基づくSDGs普及啓発事業の実施
--



6. 取組成果 <ul style="list-style-type: none">➢食と農のわくわくSDGs学習：小学校から大学まで計15校で実施。学習に活用するため、米粉製粉機の導入や教材用動画制作、実践事例集の作成を行った。➢農業DXモデル事業：ヤシの実チップと燐炭を使用したいちご栽培への取組を支援。研修を実施するなど現場への普及にも努めた。➢フードシェア推進による食品ロス削減：規格外の野菜等を子ども食堂へ提供するフレッシュフードシェアを継続実施し、自走化に向け拠点整備を進めたほか、企業と連携して子ども食堂へ売れ残りのパンなどを調理して提供する「ごちそうさまキャラバン」を新たに実施した。➢新潟国際情報大学との連携事業：大学生が中心となって、小学生親子を対象にボードゲームやワークショップなど楽しみながらSDGsを学ぶ機会を提供した。➢主なKPI達成状況<ul style="list-style-type: none">・農業産出額 推計値：534.8億円（2022年）※目標値：570.8億円（2023年）・新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合：88.5%（2023年度） ※目標値：88.4%（2024年度）・食品ロス量：22,398t（2023年度） ※目標値：32,400t（2024年度）
--

5. 取組推進の工夫 <p>統合的取組においては、教育を通じた人材育成を基礎に、食と農のサプライチェーンの各段階でリーディング事業を実施し、三側面全てにおいて価値の波及を行うことで、食と農のサプライチェーン全体の活性化を目指している。また、リーディング事業は、地域の産業を支える人材育成に向け、学習への組み込みを視野に推進している。</p>

7. 今後の展開策 <p>若者に対し切れ目なく、学習を通じて地域の農産物や食関連産業への関わりを深めてもらう取組など、「食」と「農」に関わる取組をさらに充実させていく。また、SDGs未来都市新潟市オリジナルロゴマークを活用し、庁内外における取組を後押ししていく。</p>
--

8. 他地域への展開状況（普及効果）	「食」と「農」は、本市の特徴であるが、本市の「学ぶ・作る・売る・食べきる」という一気通貫の取組は、他地域においても十分な展開可能性を有している。そのため、ホームページはじめ各種媒体での発信を通じて、取組の普及啓発を行ってきた。また、市内の専門学校のほか、近隣市町村の高校等において、SDGs未来都市の取組に関する講演を実施しており、本市のSDGsモデル事業等の取組について、将来を担う若者に対するアプローチを行っている。
---------------------------	--